

令和2年度明蓬館高等学校学校評価について

国から構造改革特別区域計画の認定を受け川崎町が認可した明蓬館高等学校について学校評価を行いましたので公表いたします。

●根拠法令

構造改革特別区域法12条5項

特区の認定を受けた地方公共団体は学校設置会社の設置する学校の教育、組織及び運営並びに施設及び設備の状況について、毎年度、評価を行わなければならない。

評価基準

4 = 優れている

3 = 良い

2 = 一部要改善

1 = 要改善

評価項目	評価における観点	評価結果	評価コメント
学校運営体制	教職員の資質・能力の育成	3	<ul style="list-style-type: none"> ・本校と直営の5拠点に跨る教職員にて横断型の部会を立ち上げ、活動を開始したことで、教職員の資質・能力の育成に期待が持てる。 ・「全校危機管理本部」を組織し、教職員の危機管理能力の向上に努めた。 ・生徒のオンライン登校や教職員のリモートワークを可能とするツールのスキルを取得し、達成できた。
	生徒指導の状況	2	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のためオンラインツールを活用して生徒と連絡を取ったり、授業の配信やオンライン文化祭を配信し、好評を博した。 ・全国各地のSNEC・STECでは福祉系支援員と心理職を常時配置し個別指導支援計画の運用を行っている。想定される問題の予防、初期対応について成功事例が増えてきたと感じている。
	地域との連携	4	<ul style="list-style-type: none"> ・11年間にわたり生徒たちが戸山神社と須佐神社の清掃活動を続けたことが評価され、福岡県青少年育成県民会議より表彰状を授与された。 ・「安宅花咲かじじば運動」に賛同し、地域の方々と生徒で彼岸花の球根300球を植え付けた。 ・「De愛小さな感謝祭」では川崎町特産品の販売補助やバンド演奏を行い、大いに貢献できた。

施設・設備の状況	教室等の設置状況	2	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍対策として教室には検温器や消毒液を設置、窓の開閉を行い換気を徹底した。 ・コロナ禍の中でサイバー空間における学びの場づくり、教職員と生徒が相談・支援のできる関係性を作るためのハード・ソフト・プラットフォームのあり方を見直す好機となった。
学習指導の状況	授業の状況	3	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン授業、レポート等に関してGoogleクラスルームに移行し、教職員、生徒ともに研鑽を重ね進めることができた。 ・ノートパソコンに加え、タブレットを各拠点に配置し、学習ができる環境を整えた。
	適切な面接指導の実施	2	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍対策として首都圏から川崎町への生徒の移動は厳しいと判断し、教職員がすべての学習センターに出向き授業を行った。出張する教職員に関しては毎朝抗原検査キットにて陰性を確認した。 ・本校については通常の対面指導を行った。
	問題を抱える生徒への対応	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットに関する問題対策として田川警察署少年係による「SNSの落とし穴」と称した講演を行った。 ・田川市自立支援課や川崎町子育て支援センターと連携し要保護対象生徒に対して連携を行った。 ・全国各地のSNEC・STECでは福祉系支援員と心理職を常時配置し個別指導支援計画の運用を行っている。想定される問題の予防、初期対応について成功事例が増えてきたと感じている。
学校設置会社の経営状況	学校経営の安定性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏4か所と博多を合わせた5か所の直営拠点。15か所のSNEC・STECサポート校。全国の高校年次のスペシャルニーズに対応できる体制づくりを行っている。類似の通信制高校はまだ現れていない。 ・SNEC生徒増加で増収、直営センターへの投資と教務人員拡充、コロナ禍のための減益となるが黒字を継続している。
	学校設置による経済的効果	2	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒数が順調に増えているため、スクーリング実施に伴う宿泊、飲食、交通、各種発注等による経済的支出が特区域内で発生するところだがコロナ禍により代替スクーリングを余儀なくされた。 ・在籍生徒中、スペシャルニーズを持つ生徒数が過半数を占めるようになり、卒業生が福祉サービスの需給を不要とし、納税も可能にする一般就労者になる進路を実現しつつある。
	学校設置による社会的効果	3	<ul style="list-style-type: none"> ・元々高校がなかった特区域内に高校ができたため、他地域まで通学を余儀なくされた人々の中で進路変更をし、本校に転学する生徒も多く、地元にある通信制高校として認知や評価を得た。